

教育DX—学生が自ら学ぶ力が高まる！

教育DX:デジタル化による時代の変化へ立ち向かう「意志ある学び」を目指しこれまでの教育を新しい魅力的なものに次元をアップする！

「意志ある学び」を実現！ AI×情報×プロジェクト学習

学生が自ら学ぶ力を育てたい—そう望んでいませんか？
AI活用と個別最適化が進む今、看護教育の新しい一步を。
明日からの授業にすぐ生かせる、アクティブラーニングで展開！

インターバル研修

開催日時:全3回+継続サポート

Google classroomを実際に活用

第1回 2025年12月20日(土)

10:00~16:00【対面研修】

Google classroom、zoomで
インタラクティブな学習サポート

第2回 2026年1月10日(土)

12:00~16:00【zoom研修】

Google classroom、zoomで
インタラクティブな学習サポート

第3回 2026年2月7日(土)

12:00~16:00【zoom研修】

研修内容

- ・ 忙しい看護教員を助けるAI活用！
- ・ 学生の意志ある学びを実現する「プロジェクト学習」の手法と実践
- ・ “考える力”を引き出す対話コーチング
- ・ 学生が自ら「根拠ある情報」を手を伸ばす！
- ・ 「課題発見・課題解決の思考プロセス＝資料提供！
- ・ 学生の学びをドライブするポートフォリオ活用
- ・ 教育DX:デジタル教科書×AI
- ・ すぐにそのまま使えるシート・資料を提供

会場:横浜 MM みなとみらい駅から徒歩1分
「シンクタンク未来教育ビジョン」オフィス

対象:医療・福祉・教育に関係している方

参加費:15,000円(初回研修時に集金)

持ち物:パソコン、デジタル教科書(持っている方)

申込方法:「右のQRコードからどうぞ！」

申し込み
QRコード



未来教育デザイナー/一級建築士
シンクタンク未来教育ビジョン代表

講師 Toshie Suzuki



公職歴:内閣府中央防災会議専門委員/千葉大学特命教授
プロジェクト学習、ポートフォリオの第一人者
意志ある学びを理念としAI時代の教育を全国で展開

著作等:『DXとポートフォリオで未来教育』日本看護協会出版会/
『AI時代の教育と評価』教育出版/『ポートフォリオとプロジェクト学習』
医学書院ほか多数

未来教育ライブラリ
Toshie Suzuki



与えられた学びから「意志ある学び」へ！

1. 「意志ある学び」未来教育プロジェクト学習とは？
2. プロジェクト学習のゴール＝他者に役立つ「知の成果」
3. 元ポートフォリオを再構築して「凝縮ポートフォリオ(＝知の成果)」

【プロジェクト学習 事例】

- AP:アクションプロジェクト
- LP:ライフ プロジェクト(看護学概論×形態機能学)
- CP:キャリアプロジェクト

プロジェクト学習のイメージ図

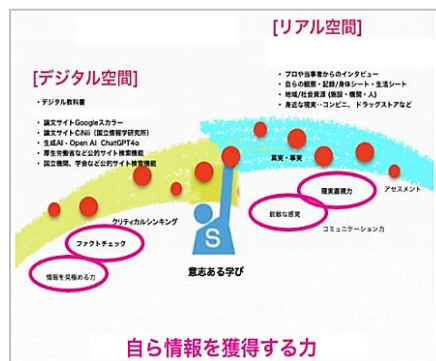


教育DXへ一歩！ ここから「さあはじめよう」

PBL(目的・目標)にAIを生かしてみよう！

「目的」のために「情報」を獲得する！

- 1)「ネット空間(検索からAIへ！)」から…目的のために情報を獲得する
- 2)「デジタル教科書」から「必要な情報」と「関連する情報」を手に入れる
- 3)デジタル空間だから叶う「知の共有・共創」



教育を「適用」から「創造」へ

アクティブラーニング + 講師との対話で進行
さあ、やってみよう！

【part I ワークショップ×情報】 インターネットで

「目的」のために「情報」を獲得する！

1. ネットから…「目的」のために「情報」を獲得する
～必要な「3つの情報力」～
 - 多様な手段で情報を得る (…ネット内でも多様・逆の考えの情報…)
 - 根拠ある情報を手に入れる (…自治体・厚生労働省・国立図書館・Googleスカラー等々)
 - 情報の提供元を確認する (…株式会社?・ブログ?)

2. 「デジタル教科書」から
「必要な情報」と「関連する情報」を手に入れる



<https://www.igaku-shoin.co.jp/igs-etext>

デジタル教科書



全ての教科を横断し
検索可能！

【part II】【ワークショップ×AI】 「プロジェクト学習」に「AI」を活かす

【PBL×AI】AIはイネーブラー！

Phase 1 【準備】	AIに問いかけながら、気になるテーマや問題意識を深めていく
Phase 2 【ビジョン・ゴール】	ゴールの明確化＝“どこをめざすか”をAIと一緒にはっきりさせる 問いの生成＝“何を調べればそこに行けるか”をAIと一緒に考える
Phase 3 【計画】	計画の構造化をする 必要な視点や手順を整理する
Phase 4 【情報・解決策】	AIと対話しながら、必要な知識・データ・背景情報を整理する 1. 必要な情報を網羅的に整理する 2. 文献・知識・根拠の方向性を提案してもらう 3. 複数の解決策を提案してもらう(思考を広げる) 4. 解決策のメリット・デメリットを比較する
Phase 5 【制作】	「課題解決のアイデア」の発想を広げてもらう ■ 構造化 ■ 図や表のアイデア生成 ■ 論理の整理
Phase 6 【プレゼン】	「効果的なプレゼンパネル」のアドバイス！ ■ 伝え方の助言(話す順番・ポイント・原稿のアドバイス) ■ プレゼン練習の相手 「プレゼン後のアンケート作成」をする
Phase 7 【再構築】	「メタ認知」しブラッシュアップする AIによる批判的レビューで、視点・根拠の確認・反論例をもらい、質を高める
Phase 8 【成長確認】	成果と成長のストーリーを可視化する

【PartⅢ ワークショップ】

Google Classroomでライフプロジェクトを各自取り組む

プロジェクト学習をGoogle Classroomで展開

「2026年4月から、さあはじめよう！」 3つのPBL — 人間らしさを再生するプロジェクト学習

AIが急速に進化し、知識や情報が瞬時に生成される時代。
だからこそ、教育は「人間にしかできない力」を再び中心に据える時期を迎えています。
〈未来教育プロジェクト学習〉は、
“感じる・考える・行動する”という人間本来のちからを育み、
AI時代における“人間性の再生(ルネッサンス)”へ向かう新しい学びのかたちです。
図:『人間ルネッサンス:3つのPBLモデル』



3つのPBL——

AP(アウェアネス・アクション・プロジェクト)／LP(ライフ・プロジェクト)／CP(キャリア・プロジェクト) は、「意志ある学び」「意志ある生き方」を実現するための実践モデル。
AIを活用しながら、人間の感性・想像力・思いやり・意志を高め、
“人間らしさを再生する教育”を現場で具体的に展開しています。
人間が本来もつ感性・想像力・思いやり・意志を高める3つのプロジェクト学習、
AP(アクション)・LP(ライフ)・CP(キャリア)を展開します。
それは、AI時代における“人間らしさの再生”をめざす教育実践です。
この3つのPBLは、すでに教育現場で実践され、確かな成果を上げています。
詳しくは こちら(実績・根拠): <https://suzuki-toshie.net/news/6864/> にあります。